

(8) 近畿



近畿地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。

- ・ 鉱工業生産は持ち直している。
- ・ 個人消費はこのところ弱含んでいる。
- ・ 雇用情勢は弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さもみられる。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す（ は上方に変更、 は下方に変更）。

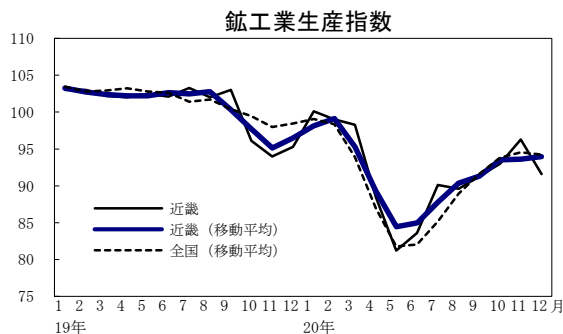
前回からの主要変更点

	前回（令和2年12月）	今回（令和3年3月）	
景況判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。なお、ヒアリングによれば、足下の感染者数増加による下振れ懸念が一部の業種で強まっている	新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる	↓
個人消費	持ち直している。なお、ヒアリングによれば、足下における感染者数増加による下振れ懸念が一部の業種で強まっている	このところ弱含んでいる	↓

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直している。

10-12月期の鉱工業生産は、汎用・業務用機械はコンベヤ等が増加したこと、生産用機械は、繊維機械等が増加したこと等により前期比3.7%増となった。



- (備考) 1. 2015年=100、季節調整値。近畿の最新月は速報値。
2. 全国及び近畿の太線は中心3か月移動平均、直近月は2か月平均。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		7-9 月期	10-12 月期	10月	11月	12月
化学	12.4	3.7	0.4	▲0.9	4.9	▲5.9
電気・情報通信機械	11.7	15.4	▲2.6	▲4.2	▲5.1	▲0.5
汎用・業務用機械	10.4	1.3	15.6	14.6	25.2	▲24.2
生産用機械	10.1	6.5	4.5	▲3.4	7.5	3.5
輸送機械	8.7	32.8	2.8	▲5.8	▲3.2	3.3
鉱工業	100.0	7.0	3.7	1.9	3.5	▲4.9

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 10-12月期、12月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費はこのところ弱含んでいる。

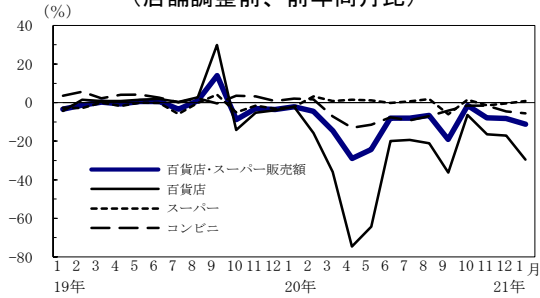
(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

10-12月期は前期比0.9%増となった。月別にみると、10月は前月比0.1%減、11月は同1.1%減、12月は同0.1%減となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

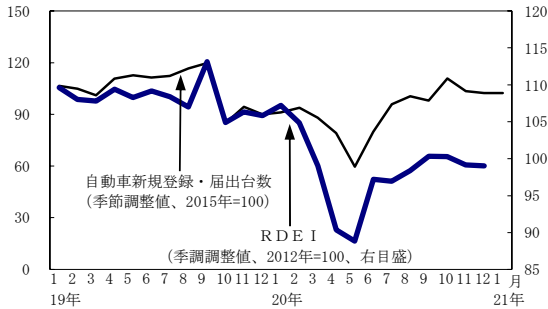
百貨店・スーパーは、10-12月期は前年同期比6.2%減となった。月別にみると、10月は前年同月比1.4%減、11月は同7.9%減、12月は同8.2%減となった。

百貨店・スーパー販売額等
(店舗調整前、前年同月比)



	2020年 10-12月	2020年 10月	11月	12月	2021年 1月
RDEI (消費*1)	0.9	▲0.1	▲1.1	▲0.1	—
百貨店・スーパー(*2)	▲6.2	▲1.4	▲7.9	▲8.2	▲11.3
百貨店(*3)	▲14.1	▲6.3	▲16.5	▲17.1	▲29.5
スーパー(*3)	▲0.1	1.5	▲1.4	▲0.4	0.9
コンビニ(*3)	▲2.6	▲1.6	▲1.6	▲4.6	▲5.5
乗用車(*4)	17.2	31.9	7.9	14.0	8.9
(季節調整値) (*4)	7.6	13.1	▲6.8	▲1.0	▲0.0

RDEI (消費) と自動車新規登録・届出台数の推移



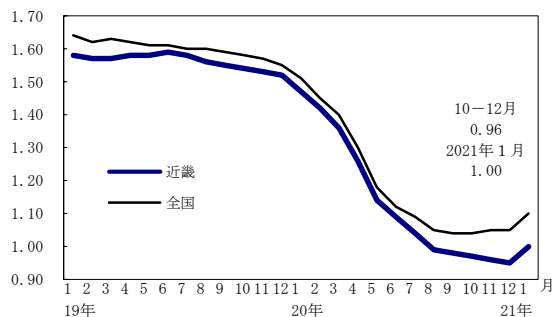
- (備考)
1. 季節調整済前期(月)比 (%)
 2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)
百貨店・スーパーは内閣府にて算出。
2021年1月は速報値。
 3. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)
百貨店、スーパー及びコンビニは、経済産業省の近畿(福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)の値。
2021年1月は速報値。
 4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

3. 雇用情勢

雇用情勢は感染症の影響により、弱い動きとなっているなかで、求人数等の動きに底堅さもみられる。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期と同水準となっている。

有効求人倍率 (季節調整値、就業地別)



完全失業率 (季節調整値)

